

地区懇談会ワークショップのまとめ

毎年行っている地区懇談会も、WS形式で実施しました。

地区担当職員が進行役を担当。それぞれの地区で設定したテーマをもとに、地域や村の課題、その課題を解決するために自分たちにできること、地域で取り組みたいこと、村で取り組んでほしいことなど、考えを出し合いました。

3月から10月にかけて全地区で行われたこの懇談会には、延べ269人が参加しました。



和やかな雰囲気ですべて“地域づくり”・“むらづくり”を考えたワークショップのようす

地区懇談会ワークショップ

地区 (人数)	WSテーマ 村や地域に必要な取組	村の施策への活用・地域への支援	担当
町1 (9人)	魅力ある町1区を創ろう！ ・空き家を活用して区民が集まれる場所をつくろう ・中学生もいっしょに将来の地区づくりを話してみたい	◆まちなか賑わい創出プロジェクト ◆地域コミュニティ活性化プロジェクト など 空き家・空き店舗の活用、拠点施設の活用や若い世代のむらづくり活動への参加を進めます。 地域づくり支援事業や職員の地区担当制度を活用して、地域発の活動を積極的に支援していきます。	産業振興推進室・みらい創造課 など
町2 (10人)	元気な町2区にしよう！ ・駅前や飲食店を活用したイベントの開催 ・拠点施設を開放し高齢者や子どもが立ち寄れる場づくり ・空き家を活用した複合施設づくり		
町3 (30人)	人が集まる宮田村づくり ・専門誌へ広告掲載 ・人脈の活用 ・観光資源の発掘	◆地域資源を活かした産業振興・創出プロジェクト ◆宮田村ブランド力・発信力向上プロジェクト など 新しい産業の創出や、さまざまな情報発信を行います。専門誌や高速バスへの広告掲載を始めます。 人脈を活用する“ふるさと応援隊”制度や、村を離れた若い世代に向けたメールなどによる情報発信を新たに計画しています。また、「独身者向けの交流イベントプロジェクト」などにより、婚活イベントも開始しました。	
	住みたい住み続けたい村づくり ・情報発信の強化 ・村を離れた学生とのコミュニケーション ・高収入を得る農業のしくみ ・婚活		◆魅力ある教育環境の整備プロジェクト など 故郷に愛着を深める“郷育”、地域人材を積極的に活用した教育を進めます。 地域づくり支援事業や職員の地区担当制をとおして積極的に支援していきますのでご活用ください。

地区懇談会ワークショップ			
地区 (人数)	WSテーマ 村や地域に必要な取組	村の施策への活用・地域への支援	担当
北割 (20人)	子育てしやすい北割区づくり ・地区内のイベントや交流会、 父親サークルの実施 ・各戸門灯で子どもの安全確保 ・子育て情報の発信を充実 ・友好都市を増やして子ども たちの交流を図る	◆魅力ある教育環境の整備プロジェクト など 新たな交流都市の開拓を開始しました。子ども たちの地域間交流活動のほか、子どもの安全を確保す る活動、父親の活動など地域発の活動を、地域づく り支援事業や職員の地区担当制をとおして積極的に 支援していきますのでご活用ください。	教育委員会 など
	高齢者の住みやすい北割づくり ・循環バスや移動販売車、タク シー券増の検討をしてほしい ・区のボランティア便利屋さ ん制度を作ったらどうか ・空き家を活用してもっと身 近な集会所を設置する ・区内の危険個所の再検討	◆安心・安全なむらづくりプロジェクト ◆地域医療と介護体制の確立プロジェクト ◆地域コミュニティ活性化プロジェクト など 区や地域と連帯して医療や介護、生活支援などが 一体的に提供できるシステムづくり、拠点施設など を活用した地域の支え合いの支援を進めます。	
南割 (7人)	高齢者が住みやすい南割づくり ・災害に備え班や隣組の強化 ・世代間交流の場づくり ・高齢者の出かける手段確保	高齢者などの生活交通手段を確保するため、デマ ンド（予約制乗り合い）交通の検討をします。	
新田 (9人)	高齢者が住みやすい村づくり ・タクシー券の充実、乗り合い、 ボランティア送迎など高齢者 の移動手段確保 ・身近なボランティア組織づくり ・みんなが参加できる地区行事 の実施でお互いの顔を知る		
大田切 (8人)	地域の活動・地域づくり ・年代などを超えて集まれる 機会づくり ・班ごとの集会所やサロンのな 場づくりで交流の輪を拡大 ・幅広い意見を聞くため今回の WSを区の主催で開催する		
大久保 (13人)	地域づくりのためのお祭りや イベントを考えよう ※多くの区民が参加して、楽し く交流することを目的とした イベント案を具体的に考えました	◆地域コミュニティ活性化プロジェクト ◆地域のむらづくり人材育成プロジェクト など 拠点施設などを活用した地域の支え合い活動や、 地域コミュニティの活性化をを図る取組を積極的に 支援します。また、地域で活躍できる人材の育成を 進めます。	
中越 (20人)	中越のコミュニケーションを考えよう ・屋号マップを作ってみたら ・若い世代もいっしょに地区内 お茶会の開催		
つつじが丘 (10人)	みんなでワイワイ将来のつつじ ・文化系のクラブ活動を作る ・拠点施設の活用 ・世代ごとのリーダーづくりで 区の活動を活性化 ・ボランティア意識を高める 啓発活動の実施	地域づくり支援事業や職員の地区担当制をとおし て積極的に支援していきますのでご活用ください。 民間活力を利用した移動販売車事業を地方創生事 業で計画中です	
大原 (11人)	大原区や村の活性化 ・空き家を活用したシェアハウ スの検討 ・大原に来てくれる若者へ区独 自の助成制度を検討 ・区内の子育てサポート体制と 高齢者の生きがい活動の検討 ・公民館を活用した活動の充実 ・村で移動販売車の検討を		

総務課・福祉課・みらい創造課
など

平成27年度 地区懇談会(ワークショップ)まとめ

■参加者数

H27

	開催日	男	女	小計	地区担	計
町1	9月16日	9	2	11	9	20
町2	9月9日	10	5	15	9	24
町3	3月26日 / 9月29日	30	7	37	8	45
北割	9月5日	20	6	26	8	34
南割	10月1日	7	0	7	8	15
新田	9月23日	9	1	10	8	18
大田切	10月1日	8	3	11	8	19
大久保	9月30日	13	1	14	8	22
中越	9月18日	20	2	22	6	28
つつじ	9月27日	10	3	13	7	20
大原	9月16日	11	5	16	8	24

計 147 35 182 87 269

※地区担含む
※町3は2回分

■アンケート結果

1. おもな感想・意見

- ・問題を共有する場となった
- ・司会進行がよく発言をうまく引き出していた
- ・いろんなアイデアが出て楽しかったし勉強になった
- ・今まで言えなかったことも言える雰囲気よかった
- ・ワークショップ型の懇談会はよかった
- ・自分の区を見直すきっかけになった
- ・有意義な時間を過ごすことができた
- ・テーマは参加者で決めるとよいのでは
- ・目的を明確にするためにもテーマは村で決めるべきだ
- ・事前にテーマを伝えておくと議論が深まるのでは
- ・テーマが漠然とし過ぎている
- ・テーマを絞らないほうが話しがしやすいのかも
- ・もっと大勢の人に参加してほしい。特に若い世代の人に
- ・子どもも入れてやってみたらおもしろいかも
- ・違う層の人にも参加してもらうために開催曜日や時間を考える
- ・時間が短い
- ・ワークショップ形式はなじめない
- ・内容を行政に反映してほしい
- ・区としてひとつでも実現できればよいと思った
- ・進行、参加者とも慣れていなかったので上手く進まない面もあった
- ・回数を重ねていくことが必要だ。
- ・地区にこだわることなく色々なグループ対象で開催してもよいのかも

2. 次回このような会に…

	また参加したい	誘われれば参加したい	あまり参加したくない	未回答
率	36.8%	44.0%	8.8%	10.4%

100.0%